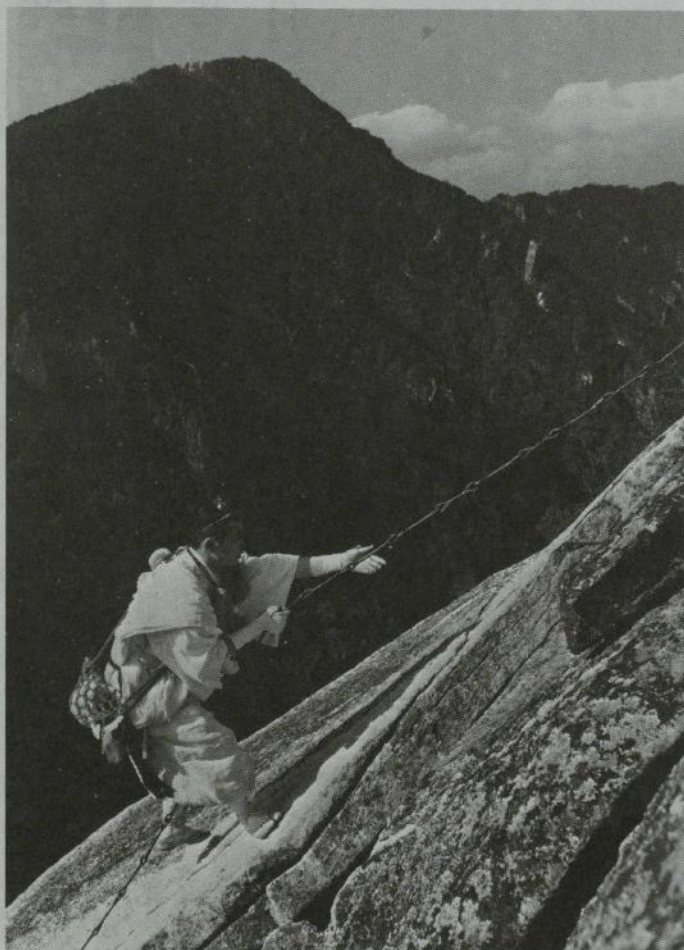


全 仏

10/55



議員推薦に思う

先きの衆・参両院の同時選挙に際して、全仏事務総局では、従来のごとく、加盟宗派、県仏、団体の推薦をとりまとめ、全日本仏教会として関係立候補者の推薦をしてきた。従来、推薦のしっぱなしの感なきにしもあらずを反省し

て、遅ればせながら、今回は、全推薦議員に対して、全仏の立場を推薦の理由を付した文書を送り、仏法の外護者としての立場を、より一層明確にしてもらうべく努力を続けてきた。

められてゆくの気がつかず、自らの守備範囲をせばめている場合が多いのではなからうか。私たちの守備範囲の中には、実は、外堀を埋められてしまったら、元も子もないというケースが数多くあることに目を向けたい。

加盟団体諸大徳の目と目を抱負し頂きたいのです。(一)

行

シリーズ⑥

修 験 (本山修験宗)

(解説8面に)

全日本仏教会

第27回

全日本仏教徒会議

＝(加盟団体代表者集会)＝

来月一日、芝増上寺で開く

第二十七回全日本仏教徒会議は、十一月一日午前九時半より、東京・芝の浄土宗大本山増上寺において開催される。

今大会は、『加盟団体代表者集会』として、シンポジウム形式がとられ、各部会ごとに具体的な討議が期待されるが、主催する全仏事務総局では、組織部を中心に鋭意努力中で、大会の成功を目指して準備委員会、増上寺などと連絡を密にし、ながら準備をすすめている。

第二十七回大会開催要項

△大会趣旨▽全日本仏教徒会議は、今年度をもって第二十七回を重ね、この間全国の主要地でその地区の仏教会が中心となり、僧俗多数を動員し、それぞれの時代に即応する仏教活動の展開に不届の決意を固めて、具体的実践策を確立し仏教精神の昂揚(特に全一仏教運動の展開)につとめてきた。

従って今回の仏教徒会議は、八十年代を含めて未来社会の目標設定のために、自から新しく脱皮しつつ仏教の真髄を開発しようとするものである。

三つの部会に於て、各般に亘ってシン

ポジウム形式で真剣な討議によって所期の目的を達成したいと念願している。

▽科学や技術は、すばらしい発展を遂げ自然は人工化され、神秘的な生命は科学的に解明され、生命のコントロールや合成まで可能となるに至った。

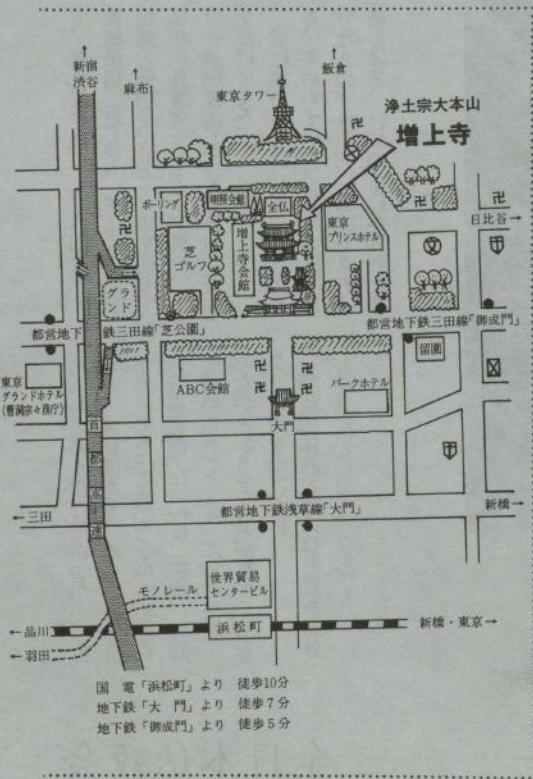
▽このように大きな変貌を遂げつつある社会に対し、人間の位置付けや生き方については十分な配慮が払われず、新しい価値観も確立されていない。

▽科学・技術及び自然は従来無限なものとして、その追求にはげみ、われわれ

大本山 増上寺

明徳四年(一一三九)の開創。徳川將軍家の菩提寺として広く知られ一万余石の寺領を有し、江戸時代を通じて行政、教学の中心であった。

本堂、御霊屋は戦災で焼失したものの、増上寺の歴史を物語る文化財を多数所蔵し、由緒ある年間行事、文化活動など大本山として幅広く活動している。



に新しい力を与えてきた。然し本来自然は有限なものであり、その制限の中で人類の存続が考えられなければならない。

▽仏教はこのような人類の課題に対し明確に答える責任があり、十分にその資格と能力がある確信するものである。

日時 昭和五十五年十一月一日(土)
会場 大本山増上寺(東京・芝)
テーマ 八十年代の仏教開発
日程 9時30分開会式▽10時20分総会
▽11時00分シンポジウム▽12時00分昼食▽1時00分シンポジウム▽3時30分全体会▽4時30分

県仏代表者会議のご案内

都道府県仏教会代表者会議は、第二十七回全仏大会の前日に東京にて開催されます。

日時 10月31日(金) 午後四時
場所 東京・芝 増上寺会館
出席 各都道府県仏代表二名

閉会式

△大会役員▽総裁・秦慧玉、副総裁・山田恵壽、上野頼栄、藤井実広、大会長・鎌淵正浩、幹事長・神野真一、副幹事長・真溪義賢、柳了堅、意見発題審査委員長・花木義光、宣言文起草委員長・柳了堅、運営委員長・畑直孝、第一部長・摩尼清之、第二部長・白川良純、第三部長・塩入亮達。

全仏 常務理事会ひらく

次年度予算などを審議

全日本仏教会の常務理事会は、九月十一日午後一時より、京都ホテル「ルイの間」において開催され、日野事務総長挨拶のあと、議長に辨淵正浩理事長、議事録署名委員に田中亮三（曹洞宗）、原田良道（静岡県仏）の両師を選出し予算案などを審議した。

議案第一号「昭和五十六年度予算案について」
中村財務部長より、第一案（通常案）基本案Ⅰ（寺院数×基本割十均等割）、基本案Ⅱ（寺院数×基本割）の説明にもとづいて種々審議がなされ「事務局は基本案Ⅰに努力し、これができない時は昭和五十六年度は第一案をもってこれにあたる。ケースによっては年内に理事会を開く」ということ了承。

議案第二号「全仏センター建設について」
加藤総務局長より準備委員会の経過報告がなされた承。
議案第三号「山形県仏教会理事登録について」
勝部組織局長より同県仏からの申請内容を説明、理事一名選出を了承。
議案第四号「ルンビニ一開発推進について」
安本国際文化局長より説明、加藤局長より補足があり、ネパールからの申し入れへの対処、現場視察の計画などが審議され、実行委員会の委員選出を事務局一任で了承。



京都で開かれた常務理事会

報告事項③「第二十七回全日本仏教会会議について」
勝部局長より今年度の大会は加盟団体代表者集会とするなど内容を報告了承。
報告事項④「第十三回WFBタイ大会について」
鎌田国際部長より、同大会への日本代表団や内容、旅行団などを報告、了承。
報告事項⑤「スリランカ首相来日について」
同首相来日にあたり歓迎会について説明、了承。
報告事項⑥「靖国法案問題について」
昭和三十八年、四十九年に表明した線を進め、宗派の意見も全仏にもらうこと了承。

【出席者】田中亮三（曹洞） 小沢照禧（智山） 藤岡義昭（大派） 辨淵正浩（浄土） 原田良道（静岡） 代・久保 保（豊山） 代・小泉（本派） 代・小口（浄土） 代・広島（大派）

宗務総長会も開かる

常務理事会に先立ち、同日午前十時より十大宗派宗務総長会が開催され、全仏の辨淵理事長、日野総長挨拶のあと、議長に阿部野龍正師（高野山真言宗）を選出して議事に入った。

昭和五十六年度の全仏予算案について担当局より資料提示のうえ説明、特に特別負担金の算定基礎の口数が不平等であることなどがとりあげられた。また「機構改革の段階では大幅な改正は好ましくない」、「改正案の場合の各宗の了解は」

などの意見がなされた。

その他に、全仏センター、機構改革、ルンビニ、同和問題、全日本仏教会議などについて経過報告などがあった。

【出席者】阿部野龍正（高野）、小沢照禧（智山）、武田齋彦（浄土）、代・久保 保（豊山） 代・小泉（本派） 代・古川、広島（大派）

宗派財務担当者会議

次年度の予算作成にあたり、九月三日（関西）、九月五日（関東）の両日、十大宗派の財務担当者会議が開かれ、事務局より主事一名増員などを含む通常案と寺院数にからむ改正案がなされ熱心に協議された。

一、黄檗隠元九行書	七拾万円
一、仁和寺栄厳三行書	七万円
一、日勝書絹本マクリ	七千円
一、地藏菩薩彩色古画	二万円
一、内務大臣山本達雄書	二万円
一、文部大臣松田源治書	二万円
一、陸舟画並費	七万円
一、隠元禪師墨蹟（遍江和彦稿書）	

いわき市遠野町上遠野堀切一六八

東光寺

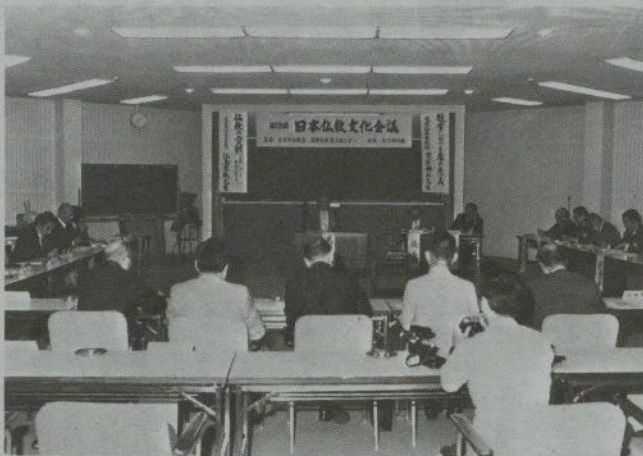
電話〇四六（八九）三二〇

数学の零と仏教の空

その接点をさぐる

第13回 日本仏教文化会議開く

前原、江島両氏が基調講演



静岡の函南町で開かれた第13回日本仏教文化会議

全日本仏教会（全仏）と国際仏教交流センター（IBEC）共催による「第13回日本仏教文化会議」は、八月二十一日～二十三日の両日、静岡県函南町の生産性研修会館を会場に、科学者、仏教学者など二百十三名、文化専門委員、教化研

究所から三名、全仏・IBECより二十名、オアサバーバーなどが参加して開催され、「科学と仏教―零とは何か」をテーマに、前原昭二筑波大名誉教授と江島恵教長岡技術科学大助教授が基調講演し、これにもとづいて数学と仏教の接点をもと

め熱心に討議が行なわれた。

日本仏教文化会議のシンポジウムは仏教界の学術会議として結成いらい、いままで「アジア開発と仏教」、「生命科学と仏教」、「人類の未来と仏教」をテーマに、仏教とのかかわり方を討議、仏教学以外の学問にたずさわる学者との交流をはかってきている。今年度は、昨年につづいて「仏教と科学」をテーマに、数学の零と仏教の空とを対照しながら、その接点をさぐる討議がなされた。

午後一時より全仏・磯山文化部長の司会で開会式が行なわれ、全仏・安本国際文化局長の開会の辞につづいて、全仏・樽淵正浩理事長、IBEC・四宮正音理事、西義雄文化会議副議長が挨拶、このあと司会を真溪義貫運営委員長にうつして会議に入った。

基調講演は、まず前原昭二筑波大名誉教授が「数学における零の意義」と題して、「零は何を意味するか、どんな内容をもつかと問われても答えづらい。零ばかりでなく、数そのものが、どんな内容をもつかということも答えることは難かしい。数は数字をもって表現される。数字

のうらにある数には、ある意味では何もなく、説明できない状態です。数は実体ではなく符帳であり、実体は何であるかという議論はしないのが現代の数学であり、その効用が大切です。

そこで、零とは何かということに、あえて答えれば、どんな数に足してもかけても変化を与えないもの、そんな効用を果たしているのが零なのです。

零への興味は、一つもないもの、それ自体を対象とするおもしろさからくるものでしょう。この観点から現代数学をみると、現代の数学の基本概念は、数というよりも、集合なのです。そこで考えられる概念は、何も構成要素（ELEMENT）のない集合です。これを空集合（EMPTY SET）といい、現代数学の基本概念なのです。

空集合という概念は、インドで生まれたものではないが、零と空を対比させるよりも、零と空集合を対比させる方がより対比し得るものである。しかしながら空集合も、あくまで一つの便法であり、仏教における空に相通するという議論を私はしない。と数学の立場を説明し、仏教との関連性は難かしいとの姿勢を示した。

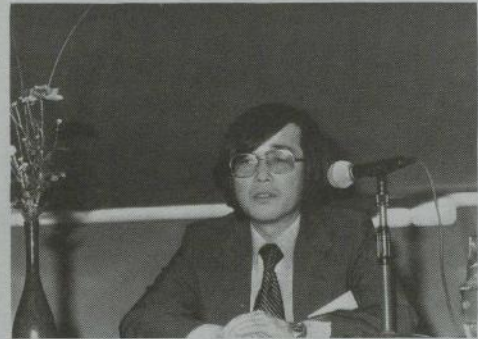
次に、江島恵教長岡技術科学大助教授が「仏教の空観―仏教における空性の意義」と題して、「空には色々なアプローチの仕方があり、空の表現に焦点を合せインドで空がどのように表現されてきたか、どう考えられてきたかについて論じてみたい。



前原昭二筑波大名誉教授

空思想は一言でいえば、一切皆空につき。それ自体で生じ、それ自体で存在することがない故に、実体性をもたないというのが基本的な考え方である。これを無自性といったり、空なるという言葉で表現し、この実体性（自性）の欠けた状態を空と表わした。

しかし、この極めて否定的に論理づけられる空性の思考基盤には、我々の認識作用における執着をいましめるところに大きな意味がある。それは悟りを目指すという大きな動機と方向性によって支えられており、執着するということとは自性を立てていることになる。これを否定するということは、執着を断つという方向性をもっていることになり、二諦の考え方（世俗を否定して勝義へ）をもっていることにより、更にその方向性が明確に



江島恵教長岡技術科学大助教授

される。

零との関連性については、数学の集合の作り方の任意性の中に仏教の考え方の通じるものがあるような気がするが、やはり別の範ちゅうのもので安易に結びつけることはできず、あとの討論をまらた」と述べた。

この西氏の基調講演をもとに討議に入り、「数学は自然科学と違い、ワクの学問であり、仏教は豊富な内容を含んでいる」（山口教授）、「数学のゼロの意味はあまりない。あくまでもフォーマルなものである」（遊亀教授）、「数というものは実体でない、そこにむすかしがある」（梶山教授）などの意見が随所でだされ、零と空の関連性というより、数学と仏教の関連づけの困難さもみられ、全体的には否定的な発言が多く、議論が広範囲に展

開された。

最後に西副議長が総括して「空と零の問題は、マハバスタなどには六十の零をつけた単位がでていたので、インドでは零の発見はかなり早かったといえるし、そこにインドの空思想とのつながりが無いともいえないが、現在の学問のブランチは、ウィンデルバルドのウィーセルシャフトの物の範囲に深い関係があつて建前というものが表にでて、それは当然であり、宗教、哲学、倫理それぞれに建前がでており、そういう立場に関するかざりこの問題とは結びつかないのではないかと考えられる」と締めくくった。

出席者（順不敬略）

- 筑波大名誉教授・前原昭二、長岡技術科学大助教授・江島恵教、大正大教授・勝又俊教、相模工大教授・佐伯真光、前竜谷大教授・山崎昭見、東大教授・柳川啓一、二松学舎大講師・若林隆光、立正大教授・渡辺宝陽、仏教大教授・佐藤密雄、阪大教授・山口恵昭、東洋大教授・河波昌、京大教授・梶山雄一、京大教授・山口昌哉、竜谷大元学長・遊亀授、文化専門委員・白川良純、浄土宗東京事務所長・鈴木靈孝、智山派教化研究所・那須政玄、文化会副議長・西義雄、運営委員長・真溪義貫、運営委員・藤吉慈海、同・雲井昭善、同・摩尼清之、同・中根専正、同・武藤義一、同・四宮正音、同安本利正

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

8ミリカラー・スコープ120分 ¥110,000 本誌読者特別価格 ¥99,000 (昭和37年作)



専用スコープ付高級8ミリ映写機発売中!!

TACNON 808-OM 標準価格 ¥125,000 特別価格 ¥98,000

●お申込みは直接郵便又はお電話で下記へ。＊分別頒布も致します。
●お申込み次第発送致します。●代金は現品到着後お送り下さい。



大映映画株式会社映像事業部

東京都港区新橋3-10-9(第5兼坂ビル7F) 千105 03(436)3760-3624

海外布教の現況と展望

高野山真言宗

大師講と共に七十年

わが宗の海外布教の歴史は、ハワイ、北米ともに約七十年になるうとするが、海外移民を決意し異国に定住した人びとの、激しい労働に明けくれる心の支えとして、期せずしてできた大師講が共にその基盤となっている。

これはこの間、身を挺して宗祖弘法大師の教えを伝えつづけた多くの先徳開教師各位の精進の歴史でもある。

太平洋戦争を境にして、台湾、朝鮮、満蒙などの開教のあとは失われてしまったが、この暗い時期を耐え忍んで、戦後教線再建に立ち上り、戦前にも増した勢力を持つに到った北米開教区、ハワイ開教区をはじめ、カナダ開教区、南米開教区の新しい教線、タイ国での特殊な活動——これが現在わが宗団の海外布教の分布図である。

ここでは、これら開教区のそれぞれの現況を概説し、最後に将来の展望、或は今後の問題点に触れてみたい。

ハワイ開教区

大正初年湯尻法眼師渡布、開教の先駆となり、引きつづいて大正三年関栄寛師赴任、ハワイ別院が創建された。関師が初代別院主監、初代開教総監である。二

代亀山弘徳師在任中、更に別院の内容外観が完備させられた。以来、曾我部、丹生、未富、鳥取の各師がこれを維持発展せしめ、現在加登田哲英師が第七代目の主監である。昨年、老朽した本堂、庫裡が立派に再建新築され、管長親下の御親教、落慶法会が厳修された。

現在、このホノルルの別院のほか、オアフ島に三ヶ寺、ハワイ島に七ヶ寺、マウイ島に三ヶ寺、カワイ島に三ヶ寺、ラナイ島に一ヶ寺がある。

北米開教区

明治四十四年、青山秀泰師渡米、移住邦人と共に労働を続けつつ開教に精進、ロスアンゼルス市北セントラル街に米国高野山大師教会を設立、高田宝成師、喜多川諦道師これを継承、現在高橋成通師が第四代主監である。

昭和十年北米高野山別院を公称、昭和十五年日本人街小東京中心地東第一街に堂々たる伽藍を新築、盛大な落慶法会が厳修された。

その後太平洋戦争によりこの間閉鎖、戦後、主監高橋師、副主監曾我部師の努力によって、目ざましく復興、現在高野山真言宗北米の拠点として、名実共に益々

々重要度を加えている。

北米別院では、多くの人材が立派に養成され、開教師として、或は学者としてその使命に尽瘁している。現在別院駐在開教師四名、所属開教師五名。

その他、ハーバー高野山仏教会、サク



ラメント聖臨寺、シャトル高野山仏教会、シカゴ高野山仏教会、オレゴン親王院のほか、各地に十一の大師講があり、開教活動の拠点となっている。

カナダ開教区

北米別院内にカナダ開教総監部をおき、高橋成通師が総監となり、大師講組織によって教線拡張の新しい体制にとり

くみ、ステファストン大師教会その他、次第に拠点が出来つつある。

南米開教区

戦後ブラジル開教が急速に進み、サンパウロに高野山南米別院が創建され、開教師杉本泰信師が駐在し、北米別院の主監高橋成通師が南米開教区総監を兼任している。

その他、スザノ市に四ヶ寺、マチャドに一ヶ寺、サントスに一ヶ寺、ペトロポリスに一ヶ寺、サン・パウロに一ヶ寺、マリンガに一ヶ寺、各地に十二の大師講がある。

タイ国弘法苑

昭和八年バンコックのワット・リヤブ寺境内に日本人納骨堂が建立され、わが宗の開教師が招聘されるようになってから二十年になる。これは戦前戦後にわたる藤井真水師の非常な努力によるものである。以後ここに駐在する開教師、既に九師に及び、在留邦人の心の支えとなっている。

今後の展望と問題点

以上概略各開教区の現況を述べたが、それぞれに現地では解らない悩みがある筈である。現地の言葉の話せる開教師の養成、布教資料の充実、宗団との血の通った直結など——これに对应すべき宗団側の課題も重い。開教局の名実共の充実、即応即決の体制、開教師の養成機関の問題などなど、宗団を挙げて在外開教師の精進に对应するべきである。

(写真・昭和五十四年五月のハワイ別院開創六十周年式典の記念写真)

東北ブロック会議 天童でひらく

全仏の東北ブロック会議は、山形県仏の担当により、八月二十五日午後五時より、天童温泉の「つる屋」に、東北各県仏代表が出席して開催された。

一、第二十七回全仏大会について
今年度の大会は、全仏主催で東京にて開催のため、協力要請とともにテーマ、内容などについて事務局より説明した。

一、時局対策について

同和問題、難民救援、靖国問題などについて話し合われたが、特に靖国問題については各代表者の個人的見解などが述べられ、それと同時に至急全仏として検討し、統一見解を出すべきであるとの強い要望がなされた。

一、次回ブロック会議について
次回は若手県仏の担当にて開かれる。
一、各県仏の活動報告について

各県仏それぞれの活動が報告された。
【出席者】熊谷隆正、松尾正道(岩手) 上田頼石(青森)、板垣隆寛、阿部光伸(山形)、勝部、中村、田代、柴(以上全仏)

山形県仏十周年記念

にぎやかにひらく

山形県仏教会(板垣隆寛会長)では、八月二十六日午前十一時より、山形市の山形新聞会館ホールにおいて、「平和と調和の実践―生活の中に仏教を」の大会スローガンのもと、山形県仏教会十周年記念大会を開催した。

大会は、板垣会長を導師に十周年記念結果大法要が営まれたあと、式辞、経過報告につづき、永年住職(住職歴五十年)

年、四十年)と県仏功労者の表彰があり盛大な拍手がおくられた。このあと来賓として全仏代表、県知事などの祝辞と大会宣言などがあり式典を終了し、午後二時からNHKアナウンサーの鈴木健二氏の「暮らしのこころ」と題する記念講演が行なわれるなど、非常な盛会裡に終了した。

15周年の中央大会

岐阜県仏の檀信徒会

檀信徒活動が浸透し、地域に根を下した布教活動を展開する岐阜県仏教会(大石好文会長)では、県檀信徒会、市仏教会、市檀信徒会と共催により、九月六日午後一時より、岐阜市民会館にて「創立十五周年岐阜県檀信徒会中央大会」を開催、一千五百名が参集し盛会であった。

大会は、会員物故者追弔法要のあと、大石県仏会長、寺町市仏会長、若菜県檀信徒会長が挨拶、県知事、市長など来賓

日本・ハワイ合同 成道会の旅

参加者募集中

全日本仏教会(鎌淵正浩理事長)とハワイ仏教連盟(藤谷義明会長)では、成道会を記念して「日本・ハワイ合同成道会の旅」を左記の募集要項により共催する。

期 日 昭和55年12月6日～11日
訪問地 ホノルル
参加費 十六万九千円
旅行社 日通航空東京航空支店
ハワイでは、花まつりと成道会が仏教

の二大行事となっており、今年の成道会は西本願寺ハワイ別院において開かれ、各宗寺院はそれぞれ各寺の行事を一切やらずにこの行事にこぞって参加するほどです。

この行事に参加し、ハワイ仏教の普及隆盛を見聞、また現地仏教徒との交歓パーティーは友好親善のうえからも意義深いものがあります。この機会にぜひご参加下さるようおすすめています。

祝辞がつづき、次に創立十五周年にあたり檀信徒会活動に功労のあった岸本賢友氏など百二十名に感謝状が渡された。このあと東宝映画「天平の甕」が上映された。

檀信徒会にとつては、昭和四十年に前進座の公演による「天平の甕」を観劇しこれが県仏と檀信徒が共に歩む第一歩であり、十五周年にまた映画を観るという縁に結ばれた。以来、全仏大会、ケサカケ運動、お経を習おう運動、老人の交通事故防止運動、印度仏跡巡拝、難民救援募金などさまざまな活動を続けている。

今回は特に、大会会場にてカンボジア難民救援金として金百万円が、全仏・加藤総務局長に手渡された、全仏に寄託された。

同和特別委員会

第五回同和特別委員会は、九月十二日午後一時より、真宗大谷派宗務所会議室において開かれた。

一、国際人権シンポジウムについて
十二月三日～十二日にわたって開かれる国際人権シンポジウムは、国際人権規約大阪府民会議の主催により、六ヶ国の専門家を招き、部落解放運動を正しく世界に訴えるという趣旨で開催される。このシンポジウムとは別に、これに出席するインドのボパトラオ・ブナシ・ガルード氏を全仏では招いて講演を予定しており、この講演会のあり方について協議され、全国的に呼びかけ自由参加の講演

会としては「どうか」、「人数がある程度規制して、講演だけでなく参加者がディスカッションできるような会にすべきである」などの意見がだされたが、カールド氏の日程がまだ完全に決まっていないうで、同氏の日程が決定した段階で内容などを決めて開催する方向ですすめることとなった。

一、各宗の報告について

これについては、各宗がそれぞれ過去における講演会や学習会、その取り組みについて述べられ、また各宗門で使用している本の紹介などがなされた。

【出席者】久保笙太清、吉田俊管（豊山）馬場修仁（智山）竹田英宣、蓮池瑞旭（浄土）善村一観（天台）岸融証、朽木明暁（大派）小泉宗和（本派）久保井恭彦、松本健雄（洞）

機構改革委員会

第六回機構改革委員会は、八月二十七

表紙の写真

修 験

修行してその徳を験わすことを修験といひ、実践を重んじ、その中に理論を会得する。そのため、先ず父母の縁によりの生れたこの身さえ否定する和歌を、吉野川の水行で唱え、本来無垢の

日午後一時より、真宗大派宗務所会議室において開かれ、全弘・日野総長挨拶のあと藤音委員長を議長に選出して議事に入った。

一、前回委員会の経過を中村部長より報告。

一、事務総局人事について、編成図を提示して説明した。

これについては各委員より活発な意見がだされ、「全弘の機構を有効的に動かすための機構改革ならば、もう少し組織を整理すべきである」との意見は、「十大宗派すべてから局長をだすようにできないか」、「局長長を選出する内規をつくるべきだ」、「局長の出ているところは部長をださない」、「局長制度をやめて全部を部長にする」などがだされた。

この結果、局部長の選出規程は理事会にまかせ、どの宗派からも出られるという含みで、条文化せずにオープンに対処する方向で答申することとなった。

一、予算編成にあたり改正案などにつ

身となり山中捨身の行に入る。

このように修行の道場を山岳という厳しい自然界に求めることにより、おのずから十界の修行と、六波羅蜜の実践を体得する。

ここに現代社会に対応して、僧俗一如の大乗菩薩道の生活が開発されなければならぬと考えるのである。写真は、大峰山脈中の、大日岳登拝の行場、向う側は釈迦岳。

いて意見交換をした。

【出席者】藤音晃祐（本派）豊田英世（日蓮）阿部博邦（曹洞）小林隆彰（天台）土屋孝喜（妙心）伊東康雄（浄土）盛川光範（高野）広島昭応（大派）堀井隆俊（智山）

弘教伝道ビル落成

九月十七日午前十一時より、創立十五周年をむかえた弘教伝道協会（沼田恵範会長）では、弘教伝道センタービル落成式を行なった。当日は入弘慶讃法要や披露パーティーが新築なった同ビルで行なわれ盛会であった。

同ビルは、会議その他の催しにも使用できるのでご利用に際しては同センター運営係に問い合せ、申し込みをして下さいとのことである。

事務総局録事（九月）

- 三日 財務担当者会議（関西）
- 五日 " "（関東）
- 六日 岐阜県弘信徒大会出席
- 九日 局内会議
- 十一日 常務理事会、総長会（京都）
- 十二日 同和特別委員会
- 十六日 全弘センター準備委員会
- 局内会議
- 十七日 弘教伝道ビル落慶式出席
- 十八日 国際人権シンポジウム出席
- 十九日 弘教伝道文化賞贈呈式出席
- 二十七日 国際専門委員会
- 日宗連理事会

全弘輪袈裟

こげ茶、法輪マーク付き
¥一、五〇〇円

法輪バツチ

径1cm、ネジ式
¥一、〇〇〇円

日の丸・弘旗バツチ

¥五〇〇円
全日本弘教会総務局

昭和56年版

全弘手帳

申込み受け中
全弘総務局では、左記要領にて「全弘手帳」を発行します。部数に限りがございますので、御注文はお早めに。

内容 三福依文、四弘警願、宗門聖日、加盟団体役員住所録
忌日早見表、その他
サイズ 9×14cm
定価 五〇〇円（送料実費）
申込先 東京都港区芝公園四一七一
十三 全弘総務局
「全弘手帳係」宛

昭和五十五年 十月一日発行
十月号 第二六二号

発行人 日野照護
編集人 安本利正

発行所 財団法人

全日本弘教会

東京都港区芝公園四一七十三
電話〇三（四三七）九七七五